

国内自転車生産・輸出入状況（平成25年1～12月）

1. 我が国の自転車生産

経済産業省生産動態統計調査によると、平成25年1～12月の我が国の完成自転車生産台数は962,200台、完成自転車生産金額は427億200万円であった。これらを前年同期と比較すると、生産台数は5.0%減、金額は6.0%増となっている。一方で平成25年1～12月の完成自転車生産平均単価は44,380円となっており、前年同期の39,791円から11.5%上昇した。この模様を表1に示す。

表1 平成25年1～12月の我が国自転車生産

	総台数	総生産金額(百万円)	平均単価(円)
平成25年1～12月	962,200	42,702	44,380
平成24年1～12月	1,012,314	40,281	39,791
変化	-50,114	2,421	4,589
変化%	-5.0%	6.0%	11.5%

出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成25年1～12月の車種別の生産状況を前年同期と比較したものが表2である。電動アシスト自転車の生産台数及び生産金額が前年同期と比較し増加している。一方で「軽快車」は台数で20.4%、金額で13.7%と大きく減少したほか、「その他」も台数・金額ともに減少を示している。

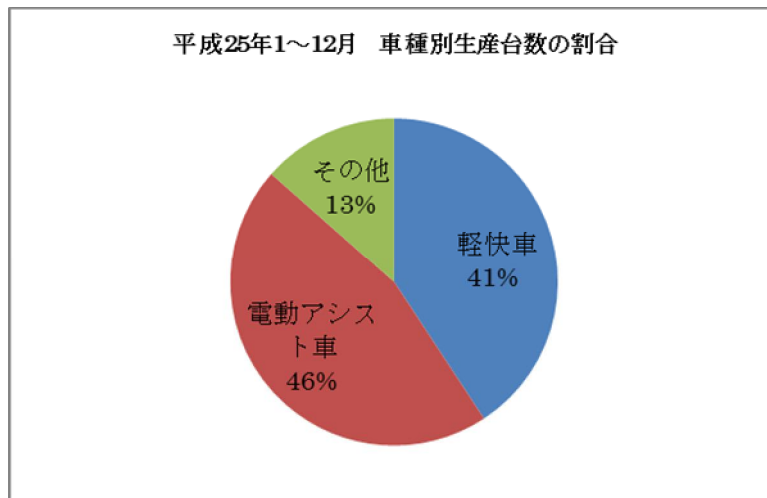
表2 車種別生産状況 平成25年1～12月と平成24年1～12月との比較

1～12月	平成25年		平成24年		変化			
	台数	金額(百万円)	台数	金額(百万円)	台数	%	金額(百万円)	%
軽快車	392,059	8,215	492,463	9,518	-100,404	-20.4	-1,303	-13.7
電動アシスト車	440,359	31,278	383,196	27,453	57,163	14.9	3,825	13.9
その他	129,782	3,208	136,655	3,310	-6,873	-5.0	-102	-3.1
計	962,200	42,702	1,012,314	40,281	-50,114	-5.0	2,420	6.0

出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会
 尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない。

表2を基に平成25年1～12月の車種別の生産台数の割合をグラフで示したものが図Aである。「電動アシスト車」の比率が最も多く46%、「軽快車」がこれに次ぎ41%を占めていることがわかる。

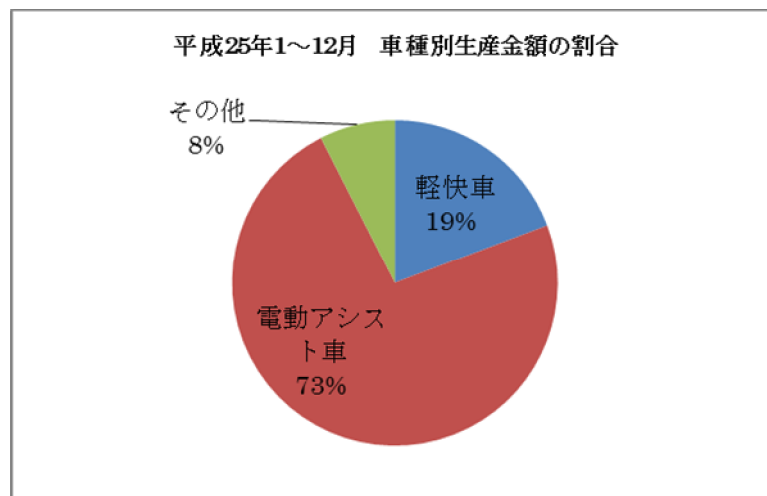
図 A



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

また同様に、表 2 を基に平成 25 年 1～12 月の車種別の生産金額の割合をグラフで示したものが図 B である。「電動アシスト車」は 73%と圧倒的な割合を占めている。

図 B



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に車種別の生産平均単価について、平成 25 年 1～12 月と平成 24 年 1～12 月とを比較したものを表 3 に示す。「軽快車」の平均単価が 8.4%、「その他」が 2.1%各々上昇した一方で「電動アシスト車」の平均単価は前年同期と比較し 0.9%下落した。

表3 車種別生産平均単価 平成25年1～12月と平成24年1～12月との比較

車種	平成25年1～12月 平均単価(円)	平成24年1～12月 平均単価(円)	変化(円)	変化(%)
軽快車	20,953	19,327	1,626	8.4
電動アシスト車	71,028	71,642	-614	-0.9
その他	24,718	24,222	497	2.1
計	44,380	39,791	4,589	11.5

出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に、月毎の「電動アシスト車」の生産台数・生産金額・平均単価を調べてみると表4のとおりとなる。平成25年1～12月の生産台数は440,359台で、前年同期の383,196台から14.9%増加した。平成25年2月の「電動アシスト車」の生産平均単価は60,503円と、他の月に比べると極端に低かったが、その後本年の生産平均単価は、若干の上昇下落を繰り返しながらも概ね平均的水準で推移していると言ってよいと思われる。平成25年1～12月の生産平均単価は71,028円で、前年同期の71,642円から1%弱下落している。

表4 「電動アシスト車」の月毎の生産状況 平成25年と平成24年との比較

	平成25年			平成24年			平均単価 の変化 (円)
	生産台数 (台)	生産金額 (百万円)	平均単価 (円)	生産台数 (台)	生産金額 (百万円)	平均単価 (円)	
1月	33,738	2,476	73,389	35,535	2,501	70,381	3,008
2月	35,833	2,168	60,503	40,781	3,003	73,637	-13,134
3月	42,603	3,064	71,920	40,025	2,864	71,555	365
4月	40,518	2,890	71,326	38,387	2,741	71,404	-78
5月	34,197	2,482	72,579	37,358	2,647	70,855	1,724
6月	36,196	2,500	69,068	35,022	2,534	72,355	-3,286
7月	37,811	2,782	73,576	30,712	2,183	71,080	2,497
8月	31,997	2,298	71,819	23,207	1,737	74,848	-3,029
9月	36,227	2,675	73,840	24,713	1,751	70,853	2,987
10月	35,944	2,644	73,559	22,965	1,716	74,722	-1,164
11月	38,139	2,747	72,026	24,477	1,752	71,577	449
12月	37,156	2,552	68,683	30,014	2,023	67,402	1,282
1～12月	440,359	31,278	71,028	383,196	27,453	71,642	-614

出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

2. 我が国自転車生産企業の総合的な生産・出荷・在庫状況

平成25年1～12月における、「生産」、「受入」、「出荷(販売及びその他)」、そして「月末在庫」も含んだ総合的な生産・販売状況について、前年同期と比較したものが表5である。

表5 我が国自転車生産企業の生産・出荷・在庫状況
平成25年1～12月と平成24年1～12月との比較

車種	生産		受入 (台)	出荷			月末在庫 (台)
	台数	金額 (百万円)		販売		その他 (台)	
				台数	金額(百万円)		
平 25.1～12 軽快車	392,059	8,215	1,372,311	1,410,366	20,727	358,697	141,438
平 24.1～12 軽快車	492,463	9,518	1,547,869	1,633,738	22,951	389,212	145,012
変化 %	-20.4	-13.7	-11.3	-13.7	-9.7	-7.8	-2.5
平 25.1～12 電動アシスト車	440,359	31,278	304,539	445,991	30,622	296,535	25,715
平 24.1～12 電動アシスト車	383,196	27,453	265,692	392,361	26,687	258,525	20,973
変化 %	14.9	13.9	14.6	13.7	14.7	14.7	22.6
平 25.1～12 その他	129,782	3,208	561,137	565,969	9,411	144,714	49,045
平 24.1～12 その他	136,655	3,310	648,722	636,506	9,682	143,879	65,255
変化 %	-5.0	-3.1	-13.5	-11.1	-2.8	0.6	-24.8
平 25.1～12 全車種計	962,200	42,702	2,237,987	2,422,326	60,760	799,946	216,198
平 24.1～12 全車種計	1,012,314	40,281	2,462,283	2,662,605	59,321	791,616	231,240
変化 %	-5.0	6.0	-9.1	-9.0	2.4	1.1	-6.5

出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない。

「受入」台数についてみると、平成25年1～12月の全車種の「受入」台数は平成24年1～12月の「受入」台数に比べ9.1%減少した。車種別には、「軽快車」が11.3%減少、幅広い車種を含んでいる「その他」のものが13.5%減少した一方で、「電動アシスト車」の「受入」台数は14.6%増加した。「受入」台数の多くは自転車生産企業が輸入した自転車台数と推測される。

次に「出荷・販売」台数についてみると、平成25年1～12月の全ての車種の「出荷・販売」台数は平成24年1～12月のそれに比べ9.0%減少した。車種別にみると、「軽快車」が13.7%減少したほか「その他」が11.1%減少した一方で、「電動アシスト車」は13.7%増加した。「出荷・販売」金額については、全車種では前年同期比2.4%増加し、車種別では「軽快車」が9.7%、「その他」が2.8%各々減少した一方で、「電動アシスト車」は14.7%と大きく増加した。

平成25年1～12月の全車種の「出荷・その他」台数は、平成24年1～12月のそれに比べ1.1%増加した。車種別にみると、「軽快車」が7.8%減少した一方で、「電動アシスト車」が14.7%、「その他」が0.6%各々増加した。尚、「出荷・その他」とは受託生産品を委託生産業者へ出荷する等したものである。

「月末在庫」については、平成25年12月の全車種の「月末在庫」台数は216,198台で、前年同月の231,240台から6.5%減少した。車種別には「電動アシスト車」が22.6%増加した一方で、「軽快車」が2.5%、「その他」のものが24.8%減少した。

表6に平成18年から平成25年まで過去8年間の毎年1～12月の我が国の自転車生産、出荷及び12月末在庫台数の推移を示す。

表6 我が国自転車生産企業の毎年1～12月の自転車生産・出荷
及び12月末在庫の過去8年間の推移

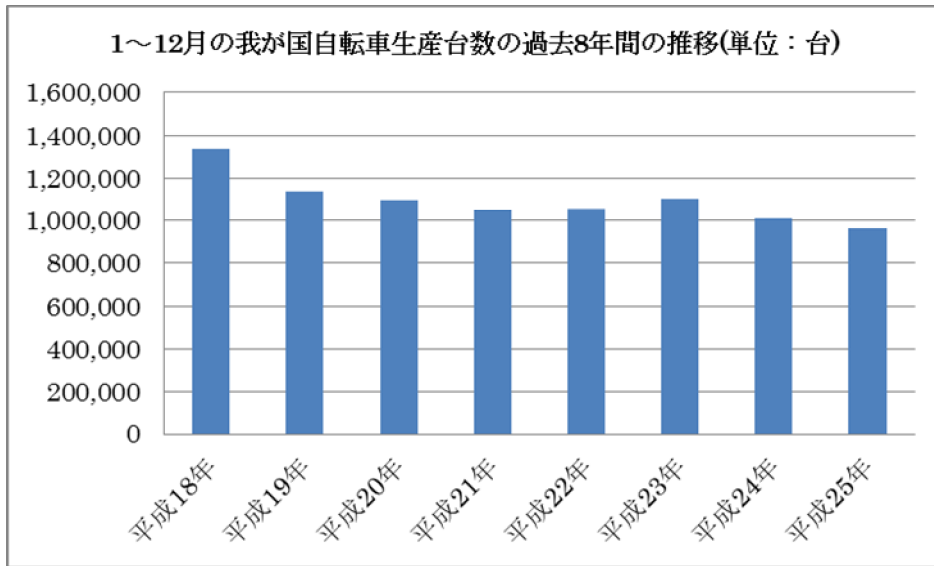
1～12月	生産			出荷			月末在庫 台数(台)
	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	
平成25年	962,200	42,702	44,380	2,422,326	60,760	25,083	216,198
平成24年	1,012,314	40,281	39,791	2,662,605	59,321	22,279	231,240
平成23年	1,101,666	42,786	38,838	3,012,322	65,969	21,900	241,321
平成22年	1,056,951	36,956	34,965	3,038,180	58,087	19,119	208,140
平成21年	1,049,469	34,435	32,812	3,098,458	56,256	18,156	219,329
平成20年	1,094,932	28,846	26,345	3,503,464	53,463	15,260	215,790
平成19年	1,135,606	25,205	22,195	3,616,043	47,819	13,224	211,533
平成18年	1,334,512	25,614	19,194	3,924,321	47,485	12,100	214,826

出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成25年1～12月の「生産台数」は100万台を割り込み過去8年間で最低、「生産金額」は過去8年間で2番目に多くなっている。これらの事から「生産平均単価」は過去8年間一貫して上昇を続けており、平成25年1～12月は44,380円と最高となっている。また平成25年1～12月の「出荷台数」は過去8年間で最低、「出荷金額」は過去8年間で2番目に多く、これらの事から生産の場合と同様、「出荷平均単価」も25,083円と過去8年間で最高となっている。また「生産平均単価」と「出荷平均単価」とを比べると「生産平均単価」の方が8年間一貫して高くなっている。「12月末在庫台数」は216,198台で、過去8年間の推移の中では標準的な水準にある。

表6を基に平成18年から平成25年までの過去8年間の毎年1～12月の「生産台数」の推移をグラフで示したものが図Cである。平成21年から平成23年にかけて若干増加傾向にあったものの、平成24年、平成25年と再び減少傾向にあることが示されている。

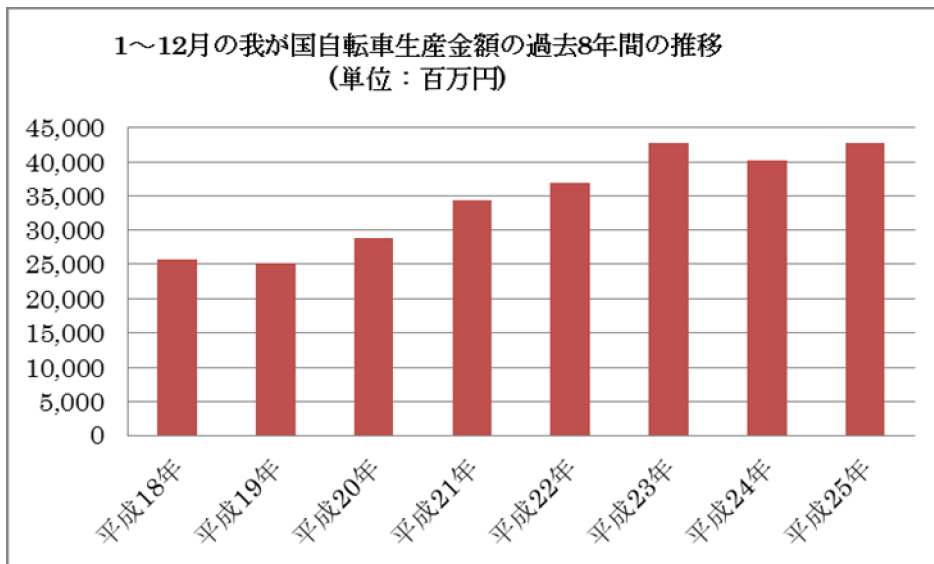
図 C



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に、表 6 を基に平成 18 年から平成 25 年までの過去 8 年間の毎年 1～12 月の生産金額の推移をグラフで示したものが図 D である。平成 23 年まで順調に増加してきた後、平成 24 年には減少したが、平成 25 年には平成 23 年の水準にまで復調している。

図 D



出典：経済産業省生産動態統計調査、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3. 我が国の自転車輸入

表7は平成25年1～12月の全ての車種の自転車の我が国への輸入の様相について前年同期と比較しながら示したものである。輸入総台数は6.7%減少した一方、輸入総CIF金額は10.1%増加した。これらの結果、平均CIF単価は平成24年1～12月の8,563円から平成25年1～12月の10,099円へと17.9%も上昇した。

表7 平成25年1～12月の我が国の自転車輸入 平成24年1～12月との比較

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成25年1～12月	7,932,395	80,110,588	10,099
平成24年1～12月	8,499,444	72,777,306	8,563
変化	-567,049	7,333,282	1,537
変化%	-6.7	10.1	17.9

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表8は平成25年1～12月の我が国の自転車輸入に関し、車種別の状況を示したものである。

表8 平成25年1～12月 我が国の車種別自転車輸入

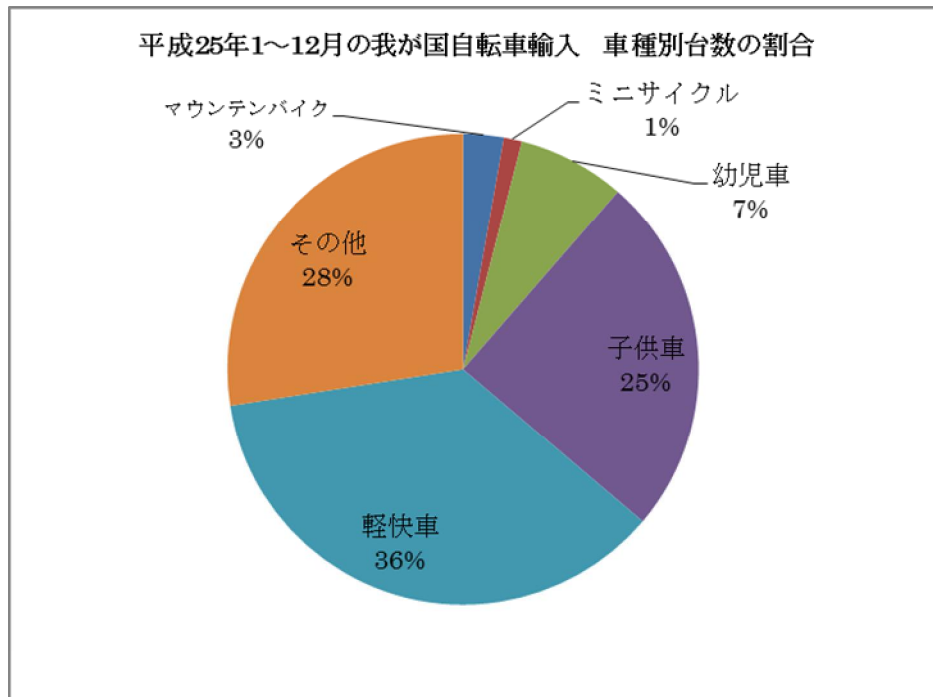
関税番号及び車種	台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	219,848	4,620,241	21,016
8712.00211 ミニサイクル	99,363	1,267,021	12,751
8712.00218 幼児車	585,485	3,666,526	6,262
8712.00219 子供車	1,966,906	16,408,936	8,343
8712.00291 軽快車	2,881,192	25,021,455	8,684
8712.00299 その他	2,179,601	29,126,409	13,363
計	7,932,395	80,110,588	10,099

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

8712.00100に分類される「マウンテンバイク」は、平均CIF単価が21,016円と最も高くなっている。8712.00211に分類される「ミニサイクル」の台数は99,363台と6つの輸入車種区分の中では最低であるが、平均CIF単価は12,751円と比較的高くなっており、高価な小径車がこの区分の中に含まれているものと思われる。また8712.00291に分類される「軽快車」は輸入台数が最も多く、平均CIF単価は8,684円となっている。更に8712.00299に分類される「その他」にはスポーツ車や外装変速機付軽快車等が含まれるが、台数は6つの車種区分の中で2番目、総CIF金額は最大となっており、平均CIF単価は13,363円と「マウンテンバイク」に次いでいる。

表 8 を基に、平成 25 年 1～12 月の我が国自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 E である。「軽快車」が 36% を占め、次いで「その他」が 28% を占めている。

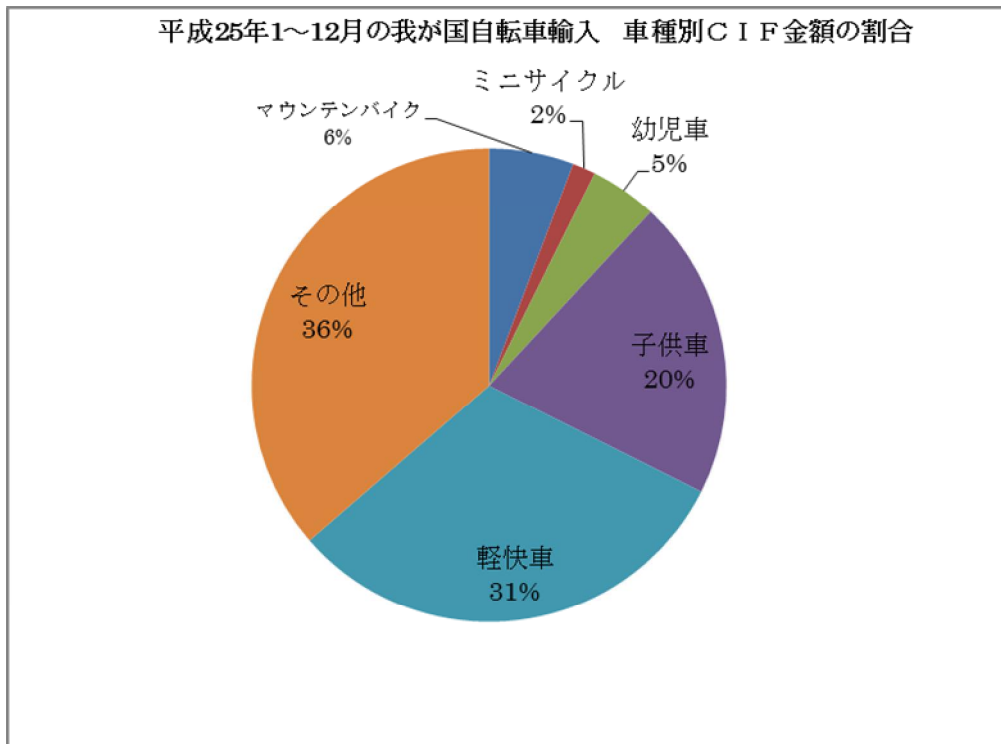
図 E



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 8 を基に、平成 25 年 1～12 月の我が国自転車輸入について車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 F である。「その他」が 36%、「軽快車」が 31%と大きな割合を占め、これら二つで 67%を占めている。

図 F



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

尚、輸入における関税番号及び車種は以下のとおり分類されている。

表9 輸入における車種区分 関税番号

品名区分／関税番号	車種
8712.00100 マウンテンバイク	・MTB(Vブレーキ・Diskブレーキ装着車を含む) ・クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ミニサイクル ・小径折りたたみ車 ・BMX
8712.00218 幼児車	・幼児車(12～16吋) ・乗用玩具(12吋二輪車) ・一輪車(12～16吋)
8712.00219 子供車	・子供車(18～24吋) ・Jr.MTB(18～24吋) ・一輪車(18～24吋)
8712.00291 軽快車	・軽快車(外装変速機付は含まない) ・シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・スポーツ車 ・外装変速機付軽快車 ・Jr.MTB(26吋)

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

表10は平成25年1～12月の車種別の我が国への自転車輸入について昨年同期と比較しながら示したものである。

表10 我が国の車種別自転車輸入 平成25年1～12月と平成24年1～12月との比較

1～12月 車種	平成25年		平成24年		変化%	
	台数	CIF金額 (千円)	台数	CIF金額 (千円)	台数	CIF金額
マウンテンバイク	219,848	4,620,241	325,828	5,737,245	-32.5%	-19.5%
ミニサイクル	99,363	1,267,021	92,405	916,531	7.5%	38.2%
幼児車	585,485	3,666,526	692,111	3,488,983	-15.4%	5.1%
子供車	1,966,906	16,408,936	2,075,504	14,271,532	-5.2%	15.0%
軽快車	2,881,192	25,021,455	3,094,262	22,420,782	-6.9%	11.6%
その他	2,179,601	29,126,409	2,219,334	25,942,233	-1.8%	12.3%
計	7,932,395	80,110,588	8,499,444	72,777,306	-6.7%	10.1%
平均単価(円)		10,099		8,563		17.9%

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

台数では「ミニサイクル」が7.5%増加したほかは全ての車種で減少している。このうち「マウンテンバイク」は32.5%と大きく減少している。また輸入台数の最も多い「軽快車」は平成24年1～12月の3,094,262台から平成25年1～12月の2,881,192台へと6.9%減少した。

金額では、台数でも大きく減少した「マウンテンバイク」がやはり 19.5%と大きく減少した。一方、「ミニサイクル」は 38.2%、「幼児車」は 5.1%、「子供車」は 15.0%、「軽快車」は 11.6%、「その他」は 12.3%各々金額が増加したため、全車種の総 CIF 金額は 10.1%増加している。

表 1 1 は毎年 1～12 月の我が国への自転車輸入の過去 13 年間の推移を示したものである。

表 1 1 毎年 1～12 月の我が国の自転車輸入の過去 13 年間の推移 全車種

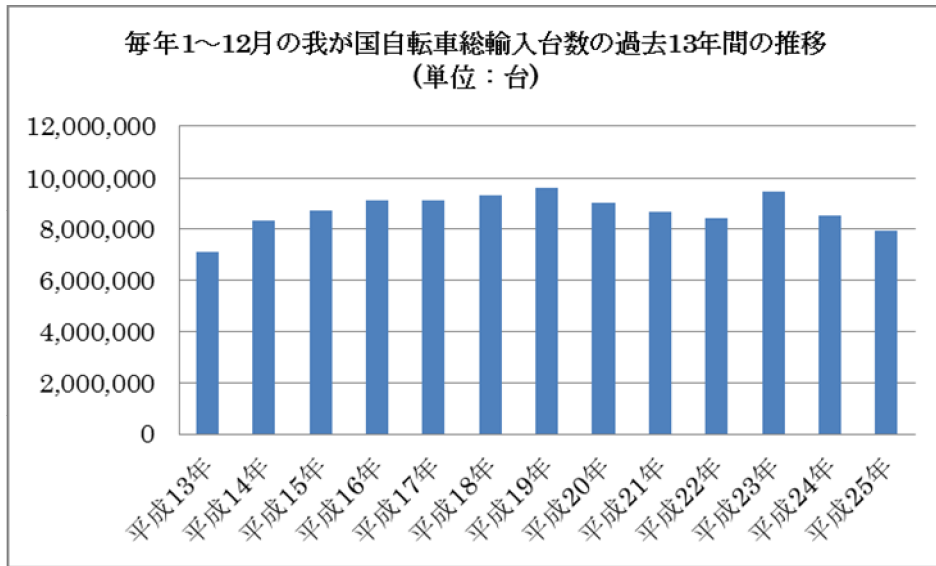
年	総輸入台数	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価(円)
平成 25 年	7,932,395	80,110,588	10,099
平成 24 年	8,499,444	72,777,306	8,563
平成 23 年	9,450,592	74,541,580	7,888
平成 22 年	8,401,946	64,891,050	7,723
平成 21 年	8,621,717	70,434,052	8,169
平成 20 年	9,033,773	78,142,462	8,650
平成 19 年	9,603,314	74,875,361	7,797
平成 18 年	9,339,172	65,768,000	7,042
平成 17 年	9,143,819	58,146,512	6,359
平成 16 年	9,138,411	54,913,763	6,009
平成 15 年	8,702,626	55,148,720	6,337
平成 14 年	8,326,093	57,030,476	6,850
平成 13 年	7,091,640	51,030,849	7,196

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成 25 年 1～12 月の総輸入台数は過去 13 年で 2 番目に少なくなっており、平成 13 年以來の少なさである。一方、1～12 月の総 CIF 金額は過去 13 年間で最高となっている。これらの事から平均 CIF 単価は 10,099 円と、10,000 円を超え過去最高となっている。この金額は、平成 24 年 1～12 月の 8,563 円を 1,500 円以上、18%近く上回っている。

表 1 1 を基に平成 13 年から平成 25 年までの過去 13 年間の毎年 1～12 月の輸入総台数の推移をグラフにより示したものが図 G である。

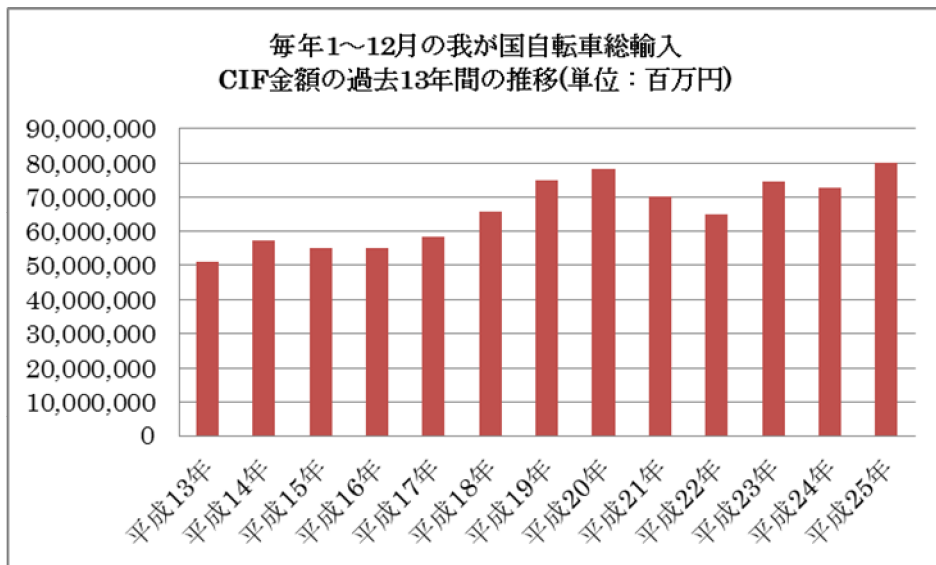
図 G



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 1 を基に平成 13 年から平成 25 年までの過去 13 年間の毎年 1～12 月の輸入総 CIF 金額の推移をグラフにより示したものが図 H ある。

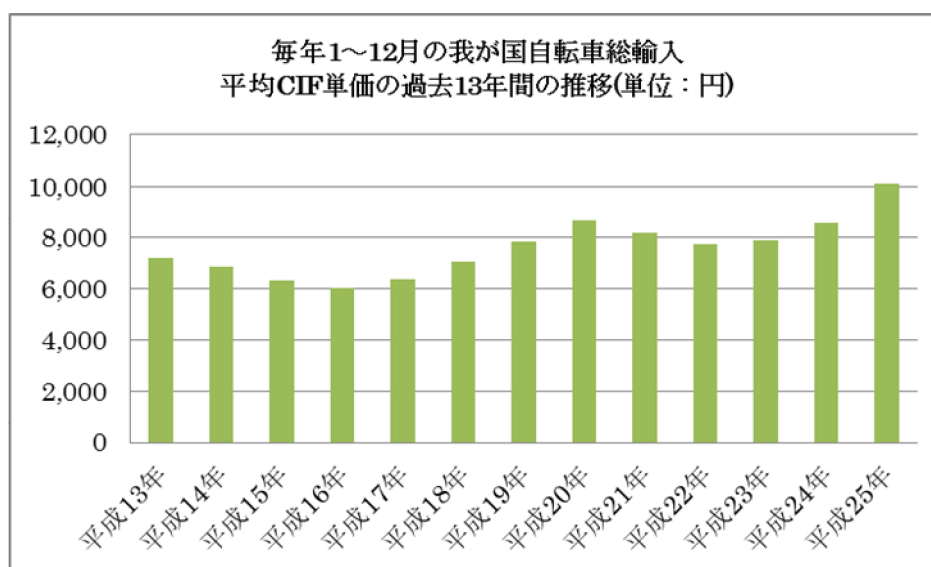
図 H



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 1 1 を基に平成 13 年から平成 25 年までの過去 13 年間の毎年 1～12 月の輸入平均 CIF 単価の推移をグラフにより示したものが図 I である。平成 25 年 1～12 月の高さが際立っていることがわかる。

図1



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

総輸入台数の月毎の推移を調べてみると表12のようになる。平成25年1月の総輸入台数は過去13年間で4番目に多かったが、平成25年2月の総輸入台数は729,345台となり過去13年間で5番目の少なさであった。平成25年3月の総輸入台数は997,586台で平成13年に次ぐ少なさとなった。更に、平成25年4月の総輸入台数は949,665台と過去13年間で4番目の少なさ、平成25年5月の総輸入台数は634,542台で遂に過去13年間で最低となり、次いで6月の総輸入台数も514,285台で引き続き過去13年間で最低となっていた。そして平成25年7月の総輸入台数は過去13年間で3番目の少なさ、8月、9月の総輸入台数はともに過去13年で2番目の少なさとなっている。更に平成25年10月の総輸入台数はみたび過去13年で最低となっている。

表12 月毎の総輸入台数の過去13年間の推移 1月～12月

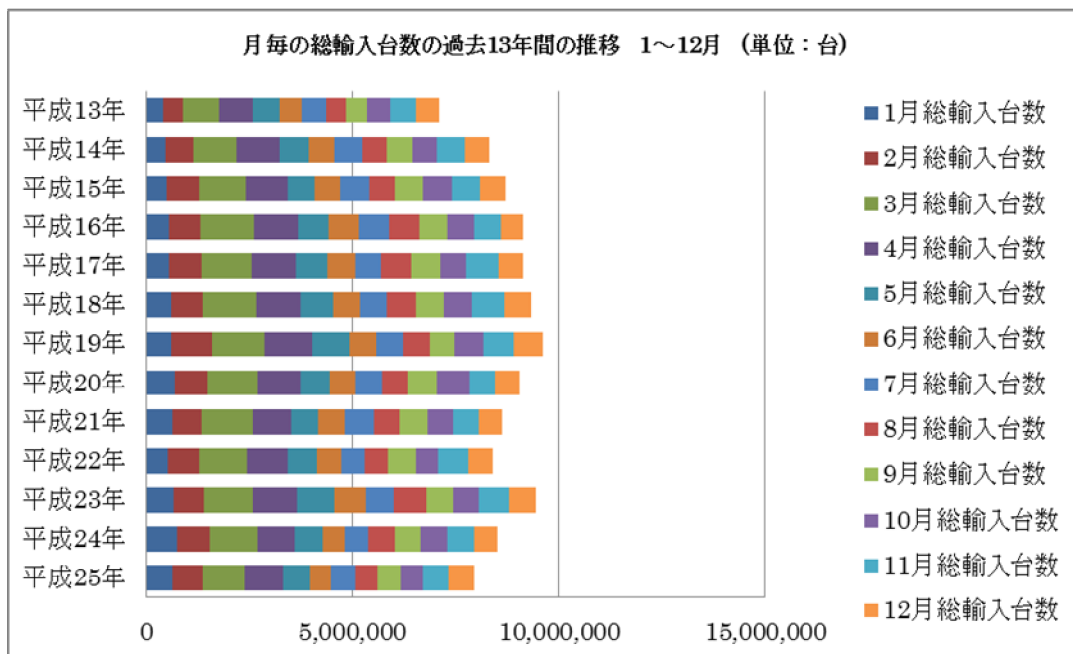
年	1月総輸入台数	2月総輸入台数	3月総輸入台数	4月総輸入台数	5月総輸入台数	6月総輸入台数
平成25年	646,439	729,345	997,586	949,665	634,542	514,285
平成24年	759,838	779,645	1,156,072	904,565	672,252	525,908
平成23年	661,234	725,936	1,192,986	1,067,890	915,243	768,659
平成22年	529,116	759,113	1,140,340	1,002,806	691,515	600,223
平成21年	631,533	717,828	1,226,863	932,220	660,802	652,693
平成20年	679,048	809,921	1,195,076	1,041,042	718,439	623,626
平成19年	613,892	988,006	1,275,167	1,152,734	890,124	644,144
平成18年	602,545	765,063	1,303,124	1,075,231	796,610	633,795
平成17年	541,343	796,348	1,226,300	1,056,187	777,336	669,039
平成16年	556,120	767,570	1,280,277	1,081,557	727,411	723,301
平成15年	504,267	764,381	1,145,964	1,015,772	655,917	610,329
平成14年	462,594	682,561	1,051,785	1,037,903	705,257	618,883
平成13年	402,134	489,191	875,729	821,736	646,209	520,779

年	7月総輸入台数	8月総輸入台数	9月総輸入台数	10月総輸入台数	11月総輸入台数	12月総輸入台数	1～12月総輸入台数
平成25年	595,336	535,046	561,806	528,767	640,332	599,246	7,932,395
平成24年	586,024	629,284	631,719	642,217	649,625	562,295	8,499,444
平成23年	675,783	776,045	655,654	629,958	722,052	659,152	9,450,592
平成22年	562,581	582,646	663,734	546,459	719,973	603,440	8,401,946
平成21年	685,910	619,872	677,716	623,646	620,796	571,838	8,621,717
平成20年	646,395	612,531	729,659	770,349	625,626	582,061	9,033,773
平成19年	672,070	649,954	586,098	688,807	741,855	700,463	9,603,314
平成18年	643,767	724,797	673,445	684,487	767,415	668,893	9,339,172
平成17年	626,723	720,123	708,659	631,378	780,371	610,012	9,143,819
平成16年	755,089	715,190	699,179	653,057	648,234	531,426	9,138,411
平成15年	694,160	623,008	684,831	710,079	691,745	602,173	8,702,626
平成14年	678,438	585,452	634,374	597,460	671,907	599,479	8,326,093
平成13年	597,110	492,476	508,814	557,178	635,910	544,374	7,091,640

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表12の月毎の総輸入台数の過去13年間の推移をグラフにより示したものが図Jである。毎年3月の輸入台数が多いことがわかる。

図J



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 3 は、毎年 1～12 月の我が国の車種別の自転車輸入台数の過去 13 年間の推移について示したものである。

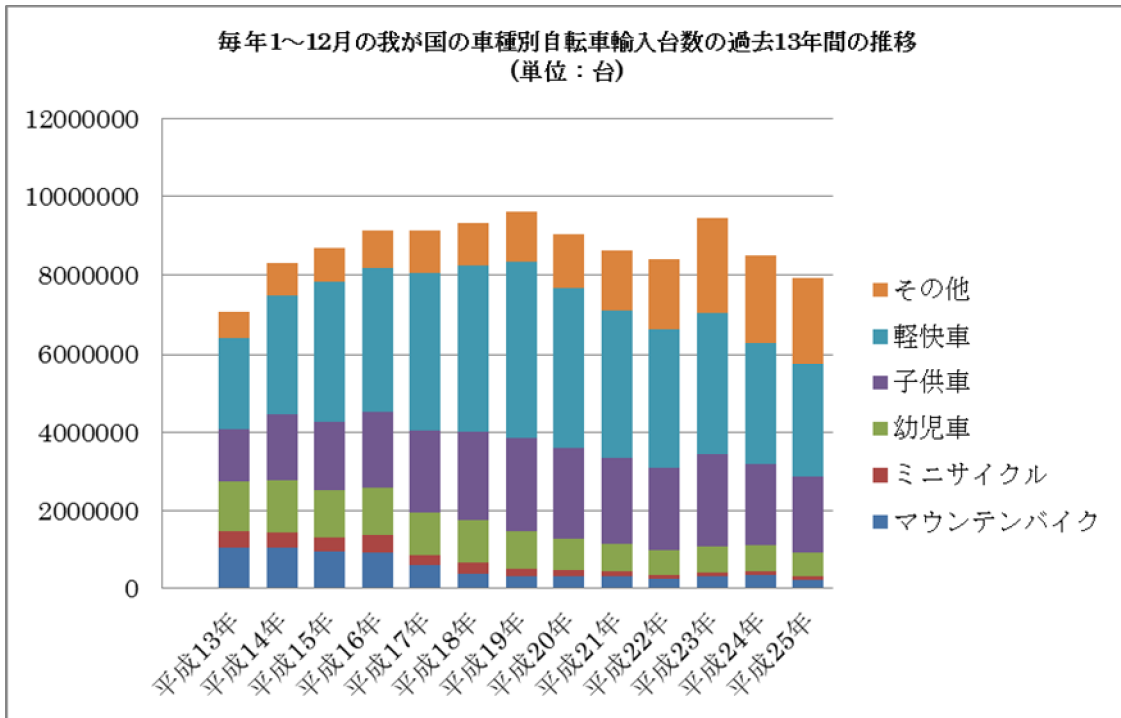
表 1 3 毎年 1～12 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 13 年間の推移

年	8712.00100 マウンテン バイク	8712.00211 ミニサイク ル	8712.00218 幼児車	8712.00219 子供車	8712.00291 軽快車	8712.00299 その他	計
平成 25 年	219,848	99,363	585,485	1,966,906	2,881,192	2,179,601	7,932,395
平成 24 年	325,828	92,405	692,111	2,075,504	3,094,262	2,219,334	8,499,444
平成 23 年	288,094	110,599	658,735	2,387,853	3,608,216	2,397,095	9,450,592
平成 22 年	225,716	124,094	613,003	2,133,052	3,526,359	1,779,722	8,401,946
平成 21 年	300,708	118,241	718,801	2,210,631	3,744,364	1,528,972	8,621,717
平成 20 年	296,984	157,596	832,968	2,299,371	4,106,823	1,340,031	9,033,773
平成 19 年	289,270	213,917	986,539	2,368,441	4,481,866	1,263,281	9,603,314
平成 18 年	376,390	263,380	1,134,179	2,236,065	4,247,509	1,081,649	9,339,172
平成 17 年	576,127	278,403	1,091,848	2,105,760	4,000,024	1,091,657	9,143,819
平成 16 年	904,165	476,528	1,196,247	1,928,895	3,675,231	957,345	9,138,411
平成 15 年	929,832	398,388	1,203,448	1,735,536	3,571,855	863,567	8,702,626
平成 14 年	1,038,877	411,716	1,318,150	1,690,663	3,042,743	823,944	8,326,093
平成 13 年	1,043,222	436,601	1,245,415	1,335,263	2,351,540	679,599	7,091,640

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成 25 年 1～12 月の「マウンテンバイク」の輸入台数は 219,848 台、「幼児車」の輸入台数は 585,485 台で、これら 2 つの車種については過去 13 年間で輸入台数が最低となっている。また「ミニサイクル」の平成 25 年 1～12 月の輸入台数は過去 13 年で 2 番目に少なくなっている。更に「子供車」の平成 25 年 1～12 月の輸入台数は 1,966,906 台と過去 13 年で平成 16 年以来 5 番目の少なさ、「軽快車」の平成 25 年 1～12 月の輸入台数も過去 13 年で平成 13 年以来 2 番目の少なさとなっている。他方「その他」の自転車の平成 25 年 1～12 月の輸入台数は 2,179,601 台で、過去 13 年の推移の中では 3 番目の多さではあるが、平成 23 年 1～12 月の 2,397,095 台をピークとして 3 年間減少が続いている。これらの事から平成 25 年 1～12 月の総輸入台数は 7,932,395 台と過去 13 年で平成 13 年以来 2 番目の少なさとなっている。
これらの模様をグラフで示したものが図 K である。

図 K



出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成 25 年 1～12 月の我が国の自転車輸入に関し、その主要供給元を示したものが表 1 4 である。

表 1 4 平成 25 年 1～12 月 我が国の完成自転車輸入 主要供給元

供給元	総台数	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価 (円)
中華人民共和国	7,666,093	68,168,186	8,892
台湾	242,430	10,485,951	43,254
その他	23,862	1,456,451	61,036
計	7,932,385	80,110,588	10,099

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

「中華人民共和国」が最大の供給元である事は明らかである。総台数の 97%、総 CIF 金額の 85%を占めている。平均 CIF 単価は 8,892 円であった。これに次ぐのが「台湾」で、台数の 3%、総 CIF 金額の 13%を占め、平均 CIF 単価は 43,254 円で、「中華人民共和国」産のもの 5 倍近くになっている。これら 2 つの国・地域で総台数の 99.7%、総 CIF 金額の 98.2%を占めている。

4. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。毎年 1～12 月の「国内向け数量」の過去 8 年間の推移を表 1 5 に示す。平成 25 年 1～12 月の「国内向け数量」は過去

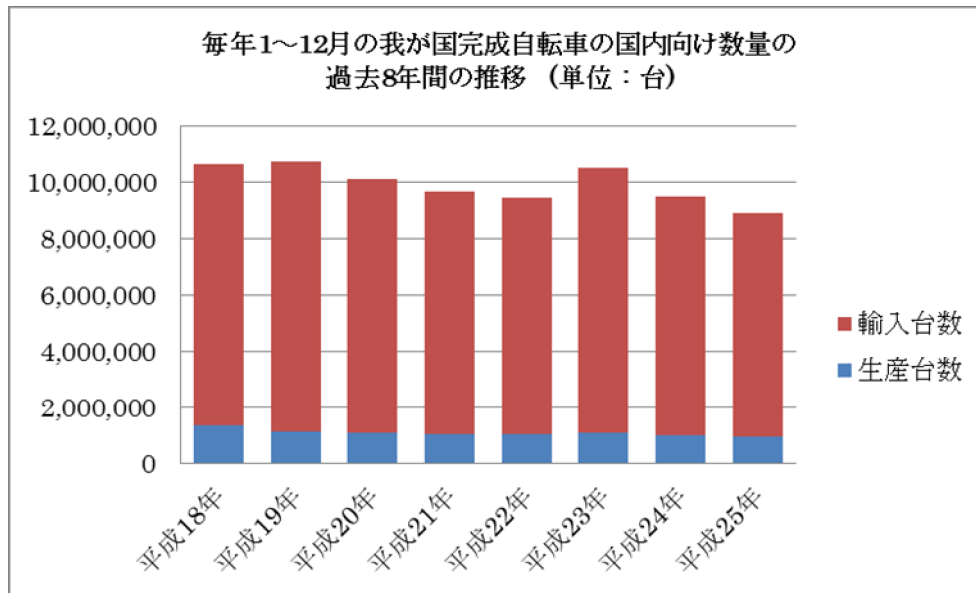
8年間の推移の中で最低となっている。「生産台数」も「輸入台数」も過去8年間で最低となっているためである。国内生産の比率は10.8%で、過去8年間の推移の中では平均的と言ってよい水準となっている。また、これらの模様をグラフにより示したものが図Lである。

表15 毎年1～12月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去8年間の推移

年	生産台数	輸入台数	国内向け数量	国内生産の比率%
平成25年	962,200	7,932,395	8,894,595	10.8
平成24年	1,012,314	8,499,444	9,511,758	10.6
平成23年	1,101,666	9,450,592	10,552,258	10.4
平成22年	1,056,951	8,401,946	9,458,897	11.2
平成21年	1,049,469	8,621,717	9,671,186	10.9
平成20年	1,094,932	9,033,773	10,128,705	10.8
平成19年	1,135,606	9,603,314	10,738,920	10.6
平成18年	1,334,512	9,339,172	10,673,684	12.5

出典：経済産業省生産動態統計調査、財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

図L



出典：経済産業省生産動態統計調査、財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

5. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆ど全てである。平成25年12月の我が国自転車輸出の主な仕向け先を表16に示す。平均FOB単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。

表 1 6 平成 25 年 12 月 主要仕向け先別の我が国の完成自転車輸出

仕向け先国・地域	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
カンボジア	54,466	73,772	1,354
ミャンマー	47,593	63,234	1,329
ガーナ	41,135	54,693	1,330
ナイジェリア	29,459	46,909	1,592
UAE	24,903	38,973	1,565
タイ	14,462	26,712	1,847
アフガニスタン	14,432	15,324	1,062
タンザニア	13,518	16,324	1,208
フィリピン	8,723	12,430	1,425
香港	7,900	13,049	1,652
その他	21,988	33,807	1,538
計	278,579	395,227	1,419

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 7 に平成 13 年から平成 25 年までの過去 13 年間の毎年 1～12 月の我が国自転車輸出の推移を示す。総台数は増加傾向にあり平成 25 年 1～12 月は過去 13 年間で最高となっている。平成 25 年 1～12 月の総 FOB 金額も過去 13 年間で最高となっている。平成 25 年 1～12 月の平均 FOB 単価は 1,375 円で、ここ 5 年ほど大きな変化がない。

表 1 7 毎年 1～12 月の我が国自転車輸出の過去 13 年間の推移 全車種

年	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
平成 25 年	3,142,282	4,320,542	1,375
平成 24 年	2,980,626	3,863,945	1,296
平成 23 年	2,676,620	3,505,035	1,310
平成 22 年	2,393,342	3,180,711	1,329
平成 21 年	2,214,528	3,000,068	1,355
平成 20 年	2,283,080	3,772,868	1,653
平成 19 年	2,095,644	3,028,212	1,445
平成 18 年	1,340,136	1,467,329	1,095
平成 17 年	1,221,802	1,364,928	1,117
平成 16 年	1,009,023	1,259,526	1,248
平成 15 年	865,478	1,151,778	1,331
平成 14 年	646,597	828,013	1,281
平成 13 年	559,732	793,344	1,417

出典：財務省貿易統計、分析：一般財団法人自転車産業振興協会

以 上